

令和4年1月6日
(事務担当)
総務課人権推進室
道上
TEL : 076-225-1235
内線 : 3386

人権啓発リーフレット「新成人に贈る人権メッセージ」の配布について

1 目的

日々の生活の中、何気ない言葉や行動で周りの人の心を傷つけていることがあります。

しかし、常に他人に対する「思いやりのこころ」を持ち、正しい人権感覚を身につけるよう心がければ、心豊かな社会を築くことができます。

そこで、人生の一つの節目を迎えた新成人に対し、人権の尊重が自分たちの行動規範となるよう、人権メッセージを伝える啓発用リーフレットを、成人式において配布するものです。

2 リーフレットの内容

(新成人へのメッセージ)

- ・ 石川県知事 谷本正憲 『相手を思いやる心』
- ・ レスリング選手 川井友香子 『新成人の皆様へ』
(津幡町出身)

(新成人の人権に関する経験談)

- ・ 野々市市 にし で れ お 西出怜央 『「思いやり」と「やさしさ」』
- ・ 羽咋市 やま べ しい な 山辺詩夏 『思いやりを持って』

3 その他

- (1) リーフレット(B4 3つ折り カラー刷り)は、10,000部作成し、令和4年の市町の成人式で配布する。
- (2) 「新成人に贈る人権メッセージ」は、平成11年の成人式から配布している。

HUMAN RIGHTS MESSAGE

じんけん 人権とは…

「人権」というと、どうしても、特別なこと、難しいこと、堅苦しいことといったイメージを思い浮かべがちです。

しかし、「人権」は私たち一人ひとりにとってかけがえのないとても大切なものであり、誰もが生まれながらにして持っている、誰からも侵されることのない、人として幸せに生きていくための当然の権利です。

また、日頃からの思いやりの心によって守られるものであり、だれもが心で理解し、感じることができるものではないでしょうか。

今、インターネット上での誹謗中傷の書き込み、学校でのいじめや体罰、子どもに対する虐待、性別および性的指向・性自認の違いや同和地区出身という理由による差別、お年寄りの疎外、障害のある人、外国人、アイヌの人々、ハンセン病や HIV、新型コロナウイルスなどの感染症患者、刑を終えて出所した人に対する偏見、犯罪被害者とそのご家族への興味本位のうわさや中傷、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害や、高齢者など配慮を必要とする方々の災害時における人権問題など、数多くの人権にかかわる問題が起きています。

私たちは、誰もがみな幸せに生きたいと願っています。同時に、家族や友人などまわりの人々の幸せも願っています。すべての人々が幸せに生きていくために、お互いの人権を尊重し、「誰か」のことではなく、自分自身のこととして考え、行動しましょう。

世界人権宣言

(1948年12月10日第3回国際連合総会で採択)

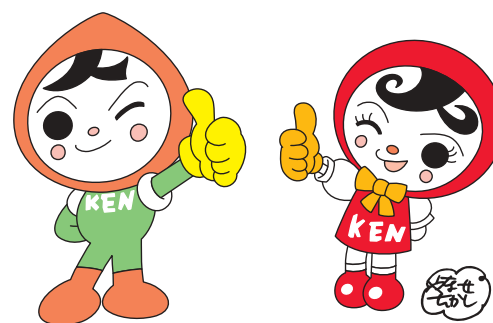
第1条 すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神を持って行動しなければならない。

新型コロナウイルス感染症に関する様々な人権侵害をなくそう

現在、新型コロナウイルス感染症に対する知識や理解の不足から、日常生活、職場、医療現場など社会生活の様々な場面で差別や偏見、いじめ、虐待などの人権問題が発生しています。

**相手の気持ちを考え、やさしさを忘れず、
みんなでこの困難を乗り越えていきましょう。**

誰もがお互いの人権を尊重し合うために、
「誰か」のことではなく自分自身のこととして考え、
行動しましょう。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん



石川県総務課人権推進室

TEL.076-225-1235

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/soumu/index.html>

石川県人権啓発活動ネットワーク協議会



このリーフレットは再生紙を使用しています。

2022年 新成人へ贈る人権メッセージ



「誰か」のこと
じゃない。

HUMAN RIGHTS MESSAGE

石川県

MESSAGE



「相手を思いやる心」

石川県知事
たにもと まさのり
谷本 正憲

新たに成人を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

二十歳という年齢は、周囲から大人としての自覚と社会に対する責任ある行動がこれまで以上に求められることとなる、人生における大きな節目です。

21世紀は「人権の世紀」と言われていますが、子どもに対する虐待、学校でのいじめや体罰、性自認・性的指向を理由とする偏見、さらに、新型コロナウイルス感染者や医療従事者等に対する差別や偏見など、人権をめぐる深刻な問題が後を絶ちません。また、インターネット上での書き込みが、個人の名誉やプライバシーの侵害につながる事例も増えるなど、人権問題はますます多様化し、複雑なものとなっています。

差別や偏見のない、誰もが幸せに暮らせる社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが自分自身をかけがえのない存在であると自覚すると同時に、他の人も同じく大切な存在であることを心に刻み、お互いに相手を思いやる心がとても大切です。

『論語』に「己の欲せざる所、人に施す事なかれ」という言葉があります。自分がされて嫌なことは人にもしてはいけないという意味ですが、いつの時代も、相手の立場になって考える「思いやる心」を忘れてはいけないということを、現代に生きる我々にも伝えてくれています。

大人の仲間入りをした皆さんが、新たな時代を築いていくためには、困難なことにも積極果敢にチャレンジする勇気や的確な洞察力、行動力が求められますが、もう一つ、お互いを尊重し合う「思いやる心」を持って、その若い力を大いに発揮されることを心から期待しています。

新 成 人



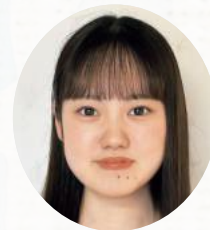
「思いやり」と「やさしさ」

にしで れお
西出 怜央(野々市市)

私たちが20歳まで育ててくれた、親・学校の先生・地域の人たちに感謝いたします。

2年前、私たちが高校を卒業して新しい生活を送ろうとしていたまさにそのとき、新型コロナウイルス感染症の影響により、人のつながりが極端に減ってしまいました。学校で多くの友人に囲まれて過ごしていた生活が一変し、長い自粛期間をほぼ一人で過ごすことになりました。早く友達と会いたい、会話がしたい、と強く思うことが増えました。自粛期間が明けて久しぶりに友達と遊んだとき、自然と話したい言葉が出て、会話がとても弾んだことをはっきりと覚えています。

「思いやり」と「やさしさ」。私はこの期間に両方の大切さを感じました。当たり前だった存在がいなくなる。こんなにさみしさを覚えることはありませんでした。だからこそ、今、この瞬間と一緒にいる人たちのことを思いやり、やさしさを持って接するように心がけています。



思いやりを持って

やまべ ししいな
山辺 詩夏(羽咋市)

子どもたちには、偏見がありません。子どもは、だれか困っている人がいれば助けようとし、何か楽しそうなことがあれば、そこにいるみんなでその楽しさを共有します。相手の年齢、性別、国籍などは関係ないのです。これは、私が大学の実習で保育現場に行き感じたことです。

私たちは、いつからか気付かないうちに、いろいろなことに偏見を持って人と接していることが多くあると思います。例えば、「男だから」「お姉ちゃんだから」など無意識に発してしまいがちな言葉です。子どもは、周りの大人の行動を見て成長するため、大人が偏見を持って周りの人に接していると、偏見を持つことが子どもにとっても当たり前になってしまいます。子どもたちに間違った認識を与えないようにするためには、私たち大人が相手の気持ちを理解し、思いやる心が何よりも大切だと思います。

二十歳という節目を迎えて改めて自分の姿を見直し、思いやりを持った行動ができる大人になれるよう努めていきます。

MESSAGE



新成人の皆様へ

レスリング選手
(サントリービバレッジソリューション株式会社所属)

かわい ゆかこ
川井 友香子

新成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

私も皆さんと同じ石川県で生まれ育ちました。同じ仲間として心よりお祝い申し上げます。私は2021年に行われた東京オリンピックで、長年の夢であった「姉妹で金メダル」という夢を叶える事ができ、私自身初めての世界一になる事ができました。

今までは、2位と3位ばかりで何度も諦めそうになりましたが石川県の皆さんはどんな時でも励まし、応援してくれました。

皆さんの応援のおかげで東京オリンピックで夢を叶える事ができたと思います。本当にありがとうございました。

新成人の皆さんも、これから何度も壁にぶつかる事があると思いますが、どんな時でも応援し、支えてくれている人がいることを忘れずに、自分らしく前向きに頑張っていってください。

私も次の目標を見つけ、応援してくださる方がいることを忘れず、感謝の気持ちを持って日々頑張っていこうと思います。

皆さんも夢に向かって頑張ってください。皆さんのご活躍を心よりお祈りしております。

